

目標達成計画

作成日: 令和3年 1月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開所してより半年がたち、今後も施設の文化や習慣、業務の流れなどを形作ることに時間をかけて取り組む必要がある。	入居者様と一緒に職員の個性や考えをまとめつつ、グループホームほたるの文化や習慣、業務の流れなどを形作る。	レクリエーションや行事の在り方を話し合い、ほたるの取り組みとして履歴を残していく。また、ほたる独自のマニュアルや業務展開を作成し、今後の職員研修などに生かしていく。	6ヶ月
2	2	新しく入職した職員、経験の浅い職員の底上げのため、指導内容や独自研修などを作成し、それに基づいてスキルアップのプログラムを組んで実施していく。	職員の経験値を底上げし、必要な経験を皆で共有する。また、ほたる独自の研修体系を形成する。	ほたるでの業務経験のある職員が、経験に乏しい職員のアドバイザーとなって支援する。また、ホームの指針やマニュアルを作って支援する。	6ヶ月
3	3	看取りや防災関連、緊急時の対応などをほたる独自で定期的に見直し、毎月検証や研修していく体制を作る必要がある。	ほたるでの看取り、防災体制や緊急時の対応などを、練習や研修の内容に沿って実施することが出来る。	ホーム会議や月数回の訓練などによって、職員には看取りや防災、緊急時の活動や業務の形成及び見直しを行ってもらう。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月